





PI Systemクライアント製品の紹介とデモンストレーション

OSIsoftジャパン株式会社 カスタマーサポートエンジニア 稲田 悠平, 渡辺 奈津美

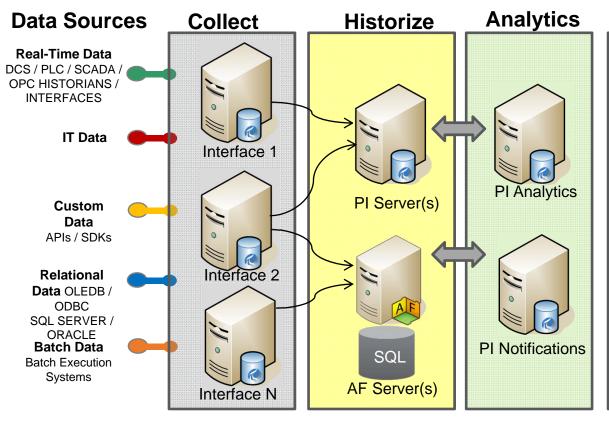
目次

- 1. PI System全体の概要
- 2. Pl DataLink
- 3. PI AF
- 4. PI ProcessBook
- 5. PI WebParts
- 6. PI Coresight

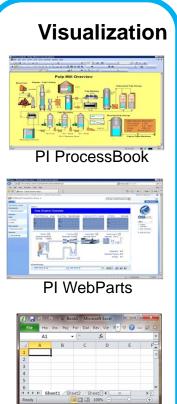


1. PI Systemの概要



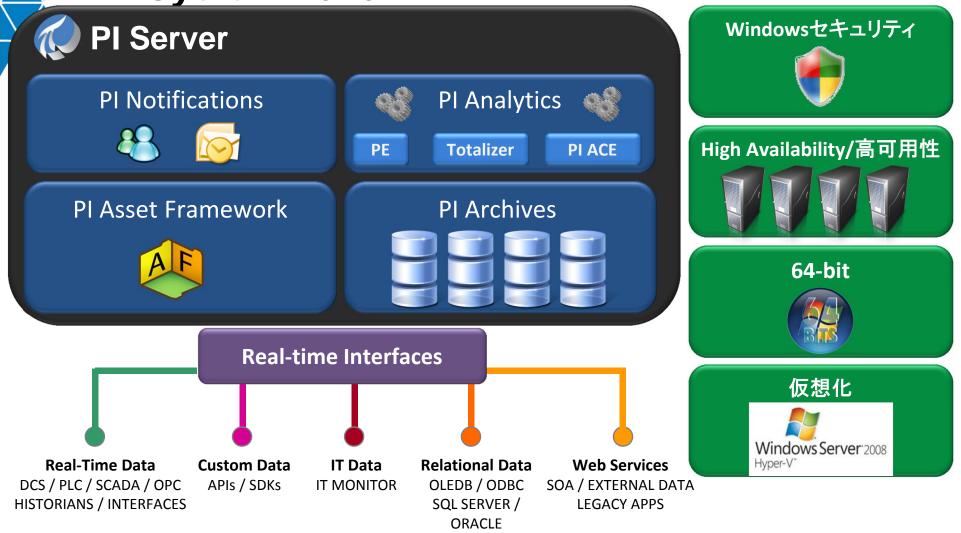






PI DataLink

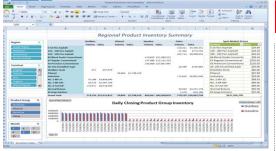
PI System 2010



PI Systemの主なクライアント製品

- PI DataLink
 - Microsoft ExcelでPI Systemのデータを利用したレポートの作成
- PI ProcessBook
 - PI Systemのデータを表示する監視画面・工程フロー図の作成
- PI WebParts
 - Microsoft SharePoint上のサイトにPI Systemのデータを表示する WebPartsを提供
- PI Coresight
 - Webから簡単にPI Systemのデータを見やすく表現する新製品
 - Ad-Hoc分析と他のクライアントツールとのコラボレーション

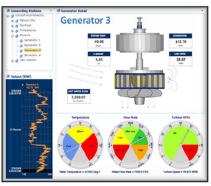
Visualization - 歴史

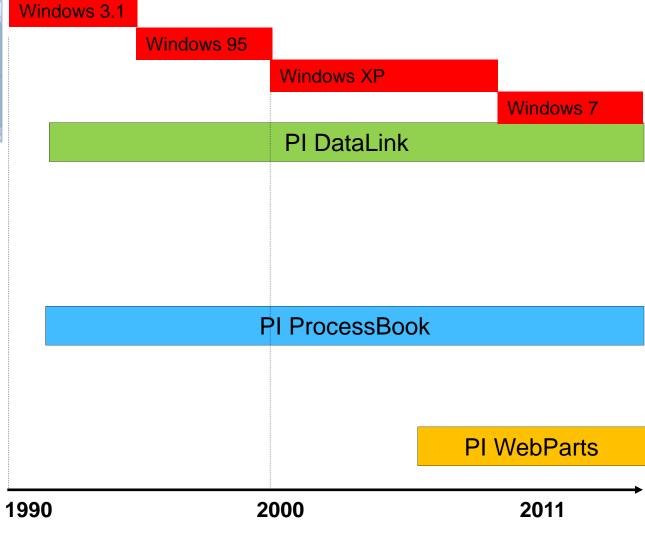


PI DataLink



PI ProcessBook



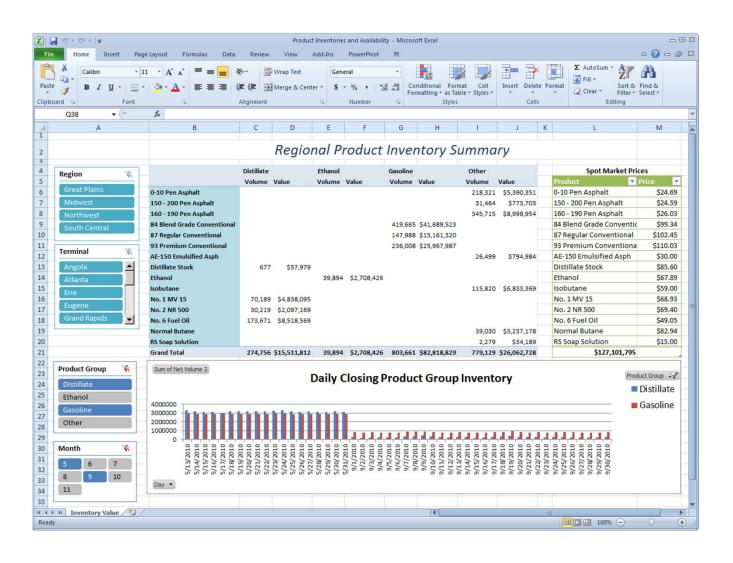


PI WebParts



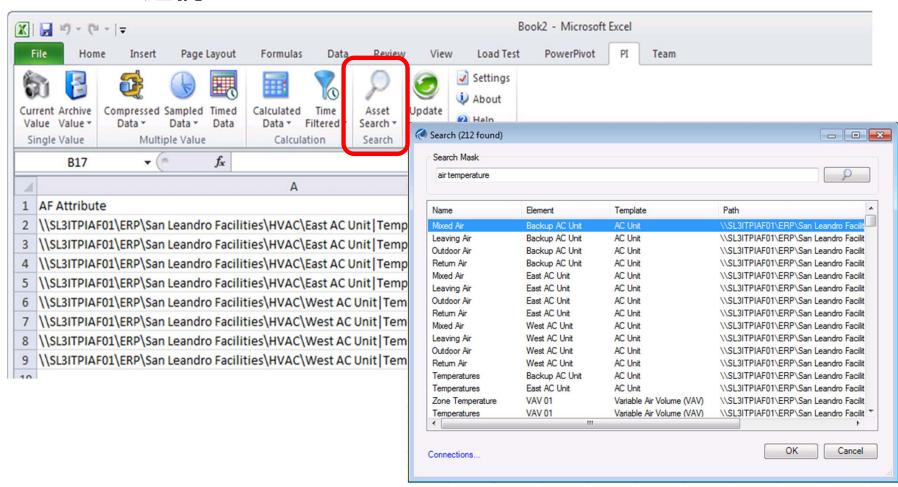
- Microsoft Excelのアドイン
 - PI Systemのデータを用いた帳票作成
 - 使い慣れたExcelシート上でPI Systemのデータを使って 演算や分析などの解析作業が可能
 - Microsoft Office 2010もサポートし、日本語を含む8ヶ国語に対応
- PI Systemに直接アクセス
 - Excelシート上でもPI Systemのリアルタイムデータの自動更新
 - シートを開いた時や、セル内に指定した時間範囲や対象タグを変更するたびにPI Systemにアクセスし、シート上のデータを自動アップデート
- 強力なBIツール
 - Microsoft PowerPivotなどの機能も使えるため、PI Systemのデータを 使った多次元での分析もユーザーのマシン上から可能

PI DataLinkデモ



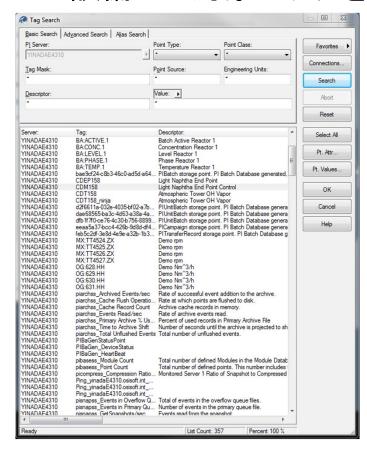
PI DataLink 新バージョンの計画

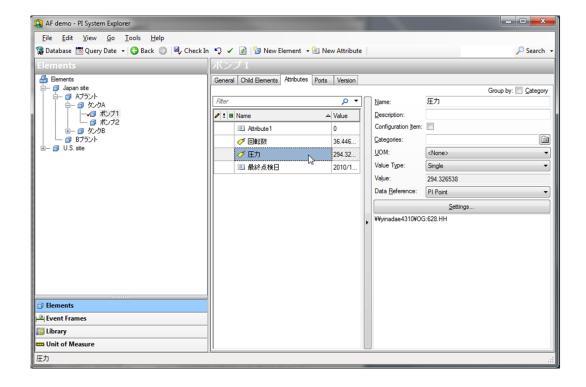
AFとの連携



3. PI AF (Asset Framework)

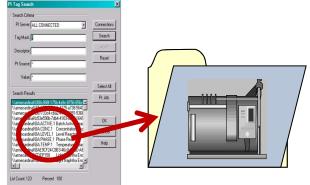
- PI Server タグと時系列データ
- 設備から対象のタグを参照





PIAF

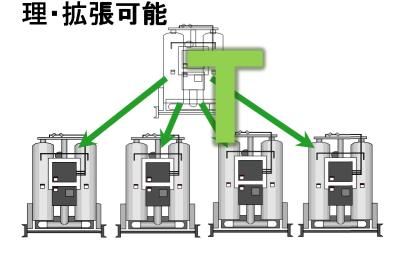
1. 物理的または論理的 にエレメント(Windows のディレクトリのようなも の)で階層化 2. タグを階層化したエレメントに割付け (タグは複数のエレメントに割付け可能)



3. テンプレートを作成し、管

Corp.

Unit 2

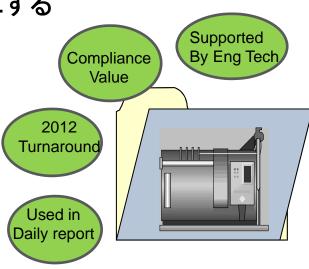


PI AF(2)

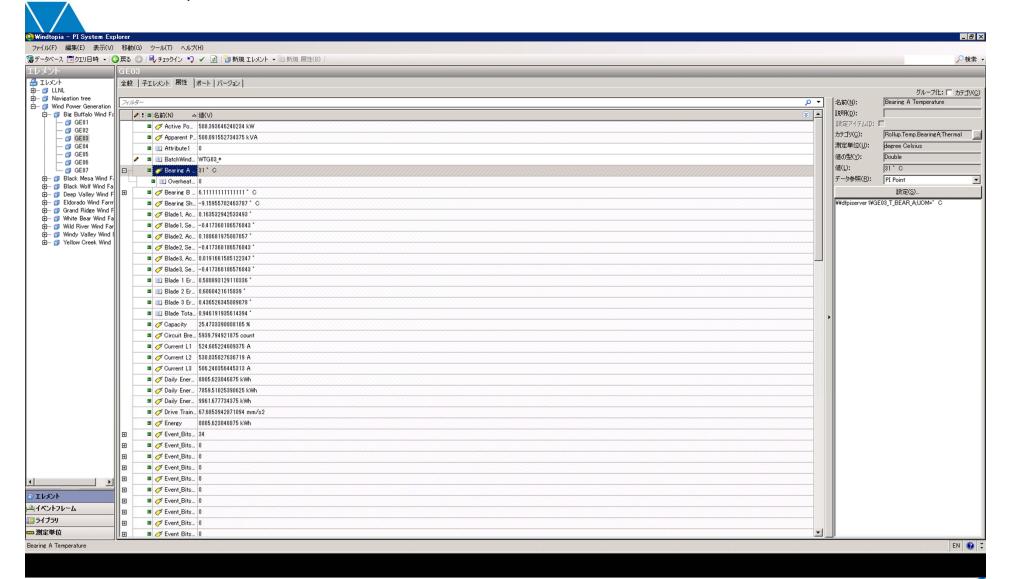
4. PIタグと同様に、効率計算やKPI、RDBのデータ、固定値を追加



5. キーワード(カテゴリー)を追加し、検索を容易にする



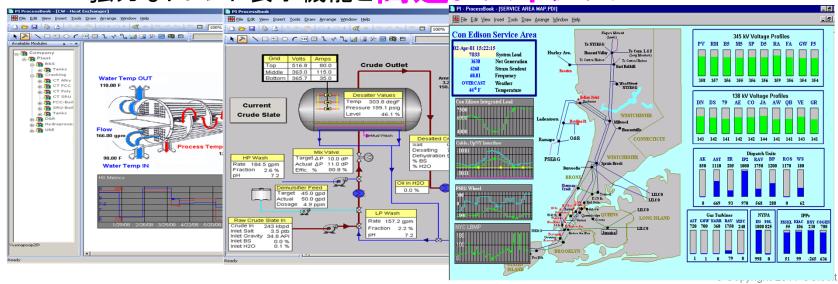
AFデモ



4. Pl ProcessBook

- 管理·監視などの画面作成ができるクライアントツール
 - トレンド、バートレンド、など様々なシンボルを使って自由に描画
 - 画面上にPI Systemのリアルタイムデータを更新表示
 - 機器構成図
 - 工程・製品フロー図やフロア・ビル構成図
 - 工場全体・地域全体の監視

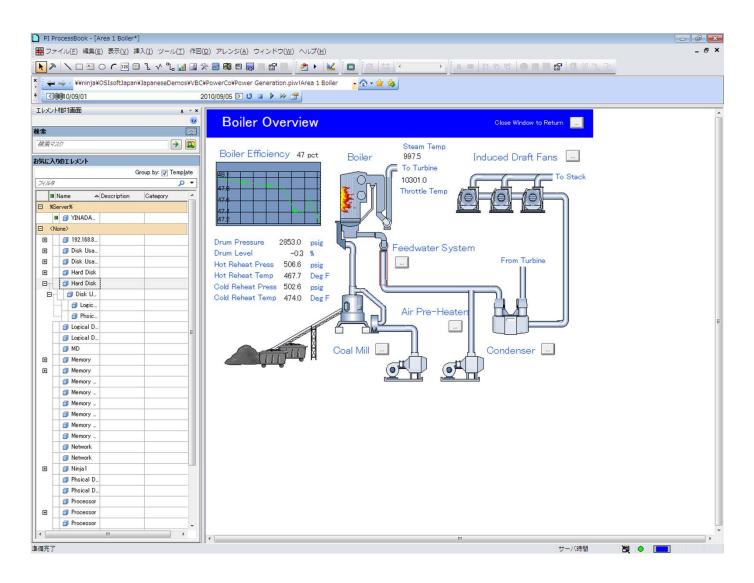
- 強力なトレンド表示機能と高速レスポンス



PI ProcessBook(v3.2)の主な機能

- リアルタイムにデータを更新
- アセット(設備)ごとのエレメント相対画面の表示
- フロー図全体のプレイバック
- トレンド作成(Ad Hocトレンド)
- ブックマークでのナビゲーション
- PI Notificationsをサポート
- 詳細と注釈の表示
- SQCシンボル
- お気に入り登録
- 日本語を含む8ヶ国語に対応

PI ProcessBookのデモ



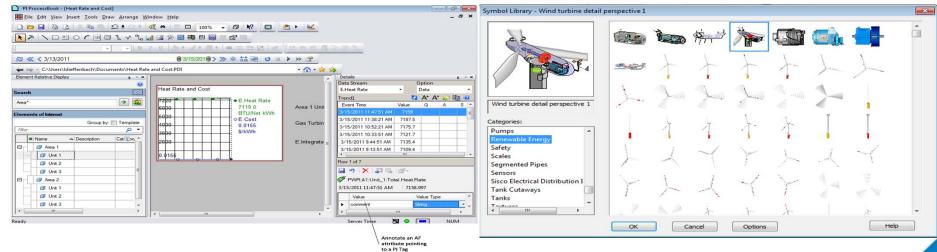
PI ProcessBook 2011 (v3.3)の主な新機能計画

・新しい時間操作ツール



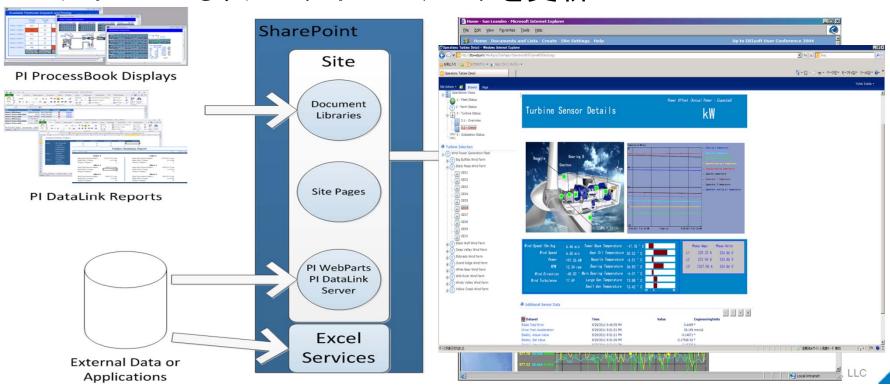
・AF属性の編集

再生可能エネルギー関連のシンボルライブラリーイメージの追加



5. PI WebParts

- Microsoft SharePoint 2010(x64)に対応
- PI SystemのデータをMicrosoft SharePointのサイト上に 様々な形で表現
- サイト上でもリアルタイムにデータを更新



PI DataLink Server 2010

 MS SharePointサイト上にMS Excelと PI DataLinkで作成した帳票・レポート などを表示・共有

• PI OLEDB Enterprise 2010や

Microsoft PowerPivot, Microsoft SQL Server

(SQL Analysis Services) などとの連携による

"セルフサービス" BI

(Business Intelligence) も実現可能





6. PI Coresight



PI Coresightとは?

開発のビジョン

"The Fastest, Easiest Way to Visualize Your PI System data"

"PI Systemのデータを最も早く、最も簡単に表現する!"

PI Coresightの開発目標

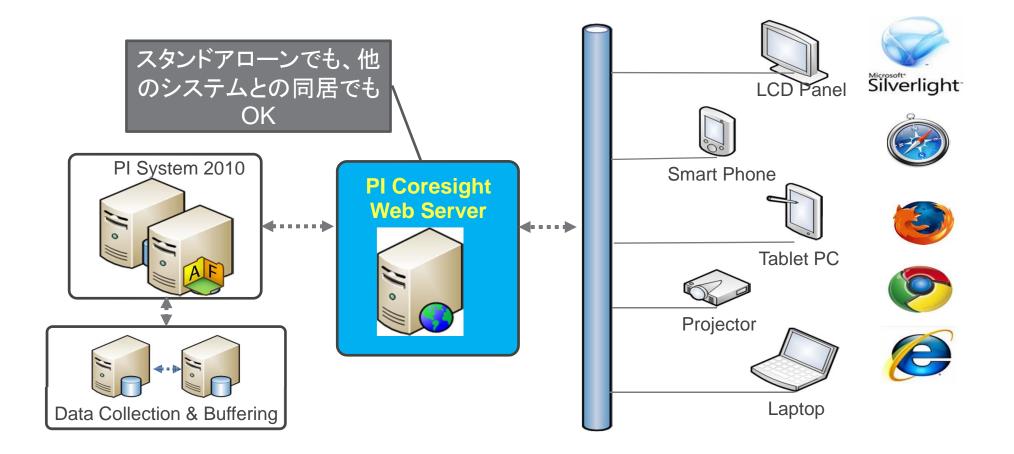
Ad-Hoc分析、調査や新たな発見、それらに基づいたスマートな決定を下すために、コアとなる気づきや洞察"Insight"を提供する、Webベースの新製品の提供

- 全くの新製品
 - 既存のPI Systemの製品を置き換えるものではありません

PI Coresightの機能

- PI AF を含むPI Server全体の検索と、既存の画面を同時に検索
 - 複雑になりがちなタグ名の理解は不要
- とても簡単に画面を作成できます
 - 時間短縮につながる
- 直感的操作可能なユーザーインターフェース
 - どなたでも簡単に利用開始
- すぐに画面の共有ができる
 - 組織全体で気づき"insights"を活用
- システムの展開やメンテナンスが簡単
 - ITフレンドリーでアップグレードもWebサーバーのみ
- いつでも、どこでも
 - Microsoft SilverlightのアドインとWebブラウザさえあれば利用可能

PI Coresight の構成



PI Coresight デモ



PI Coresight Webサーバー 前提条件

PI Coresight Webサイトと PI Coresight Admin Webサイト のホストマシン

- Windows Server 2008 R2
 - Standard or Enterprise Edition
 - Application Server Role with IIS
 (Internet Information Server) 7.0が必須
- Microsoft SQL Server 2008 R2
 - Standard, Enterprise, Express
 - ローカル、リモートは問わず

必要なPI System

• PI Server v.3.4.380 以上

Questions·連絡先

- 新製品や新バージョンの機能や計画のアップ デートは下記ページでご確認いただけます。
 - http://techsupport.osisoft.com/techsupport/nontemplates/roadmap.aspx
- YouTubeの製品デモも、ぜひご覧ください。
 - http://www.youtube.com/OSIsoftLearning

連絡先:

- 稲田 <u>yinada@osisoft.com</u>
- 渡辺 nwatanabe@osisoft.com



Thank you